

第165回防衛調達審議会議事要旨

1 日時

令和2年10月21日（水）10時00分～12時40分

2 場所

防衛省庁舎A棟2階講堂

3 出席者

（委員）

河村会長、尾畑会長代理、柴山委員、西谷委員、藤川委員、星委員、林委員

（防衛省）

防衛装備庁 宮本長官官房審議官、水野谷調達管理部長、小野調達事業部長、関監察
監査・評価官（事務局）

統幕首席後方補給官代理後方補給室企画班員、陸幕装備計画部長代理装備計画課補
給管理班長、今吉海幕装備計画部長、空幕装備計画部長代理整備・補給課補給室長

4 議題

- （1）随意契約に係るサンプリング調査審議（令和元年度海上自衛隊航空補給処）
- （2）1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議及び仕様書等に係るサン
プリング調査審議（令和元年度海上自衛隊）
- （3） 次回の日程等

5 議事概要

- （1）随意契約に係るサンプリング調査審議（令和元年度海上自衛隊航空補給処）

令和元年度に海上自衛隊航空補給処が締結した契約の中から、サンプリング調
査審議の対象として委員が抽出した「航空機部品（官給用）HOOK, HOIST
ほか」の製造請負契約について審議を行った。

（契約の概要）

本件は、海上自衛隊のSH-60J/K型航空機の機器修理時に交換される、
RESCUE HOIST ASSY用部品を取得するものである。

【事前調査における論点等】

- ① 外注加工費について、提示をうけ確認している「外注先との協定価格」は、総額のものとして工数×単価が確認できるものとがあるとのことだが、(少なくとも金額が大きいものについては) 総額ではなく工数×単価が確認できる様式のものを出していただくようにすることは難しいのか。
また、外注加工費の推移(傾向)を示されたい。
- ② 輸入品に対するG C I P額に対してもロイヤリティを支払うということであれば、輸入品は別途契約して官給品として提供するほうがコスト削減につながると思うが、実現可能性はあるか。実務的に障害になるのは何か。

【本審議】

事前調査の論点①及び②について
(資料に基づき防衛省側から説明)

事前調査の論点①について

委：本案件の外注加工費について、「工数×単価」が確認できる様式での見積提出が難しいということだが、要望しないのか。

防：本案件に関わらず要望はしているが、本案件については契約相手方と外注先の間で「工数×単価」でのやりとりをしていないということで入手できなかった。

委：競合他社がないことで中長期的にはコスト高になるので、2社目3社目に対する障壁を作らないような態勢を整えるべきである。

(2) 1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議及び仕様書等に係るサンプリング調査審議(令和元年度海上自衛隊)

【1者応札案件及び仕様書等に係るサンプリング調査審議案件4件】

- ① 電気の需給
- ② 補本等における情報処理業務の委託
- ③④ 水中スクーター, 外洋

【1者応募案件に係るサンプリング調査審議案件2件】

- ⑤ LM2500型ガスタービン(ガスタービンアッセンブリ) 機関部品外R I

NG, LOCKING, COMPRESSOR外

⑥ イージス武器システム国内技術支援

【仕様書等に係るサンプリング調査審議（複数者応札）案件2件】

⑦ IFFプラットフォーム認証に関する国内技術支援（「はるさめ」ほか）

⑧ IP電話機, 4型

【事前調査における論点】

① 電気の需給

- ・ 契約相手方に債務超過という情報があるか大丈夫なのか、他者が「経営判断の結果」入札を断念しているが、無理して入札をしているとの印象も受ける。
- ・ 予定価格の妥当性について説明されたい。
- ・ 過去の類似する調達実績（時期、契約相手方、数量、金額、単価等）を示されたい。
- ・ 1者応札となった理由について「経営判断」とあるが、価格の点以外の要因はないのか。あるとして、どのような要因か。
- ・ 本件について3社に入札の案内をしたとのことであり、今後は発注情報をより多くの事業者伝えていく必要があると考える。この点、本年度は7社に声がけをしたとのことであるが、数多くある電気事業者から7社を選別した基準は何であるか。声がけの対象を増やすことは考えられないか。

② 補本等における情報処理業務の委託

- ・ 各地での作業があるために契約相手方以外の応札が難しいのではないかと。地域毎に分割発注することはできなかったのか。
- ・ 「1者応札の改善のために緩和できる条件・今後取り組む方策等」が「公告期間の確保」でよいのか。
- ・ 過去の本件及び類似する案件の調達実績（時期、契約相手方、応札業者、数量、金額、仕様内容等）を示されたい。
- ・ 契約相手方の概要、設立経緯及び防衛調達との関係について説明されたい。また、本件業務履行者の実態を説明されたい。
- ・ 仕様書の作業内容からは他の業者の参入は難しくないように見えるが、セキュリティ上の問題等で制約があるならば、当該制約条件について説明されたい。

③ ④水中スクーター，外洋

- ・ 審議番号③の 1 回目の応札業者や審議番号④で問合せをしてきた業者が応札を断念した理由をヒアリングを行った上で示されたい。
- ・ 過去の本件及び類似する契約の調達実績（時期、契約相手方、数量、金額、単価等）を示されたい。
- ・ 完成品輸入と思われるが、なぜ価格面の競争で会社ごとに差がでるのか検討したのか。また、前回調達時との比較分析はしたのか。

⑤ LM2500型ガスタービン（ガスタービンアセンブリ）機関部品外RING, LOCKING, COMPRESSOR外

- ・ 契約相手方以外の応募について「他にいない場合がないと言い切れない」とする根拠について、具体的に説明されたい。
- ・ 過去の類似する調達実績（時期、契約相手方、数量、金額、単価等）を示されたい。
- ・ 実質的に随意契約に見えるが、審査の在り方としてこれに限らず金額的重要性のある取引については、随意契約に準ずるものとして審査の対象とされることはあるのか。

⑥ イージス武器システム国内技術支援

- ・ 契約相手方の概要（設立経緯、防衛省との取引実態）を示されたい。
- ・ 業務の実態について契約相手方と関係各社での業務振分、下請状況について説明されたい。
- ・ 過去の類似する調達実績（時期、契約相手方、数量、金額等）を示されたい。

⑦ IFFプラットフォーム認証に関する国内技術支援（「はるさめ」ほか）

- ・ 公募公示日「令和2年2月5日（長期公示）」公示日数「8日」とのことだが、8日は長期に該当するのか。
- ・ 契約相手方以外の応札者の応札金額を示されたい。
- ・ 過去の類似する調達実績（時期、契約相手方、数量、金額等）を示されたい。
- ・ R1年度の公募手続の中で、複数者が応募してきている事例はどの程度あるのか。そのうち、前例が1者応募であったのに複数者が応募してきた事例については、詳細を示されたい。

⑧ I P 電話機, 4 型

- ・過去の類似する調達実績（時期、契約相手方、数量、金額、単価等）を示されたい。
- ・メーカーが入札に参加せず、メーカーからの直接調達にならなかった理由を示されたい。
- ・一般的な製品であるにもかかわらず型番まで指定したのはなぜか。
- ・「1 度目は履行期間を理由に応札者なしとなった」とのことであり、これは 11 月末では対応困難（＝3 月末なら可能）とのことかと思うが、その要因は何か。
- ・本件に至るまでの入札の経緯を示し、中央調達での予定価格と今回の予定価格について比較して説明されたい。
- ・汎用品である本件について市場価格との比較等を実施したのか説明されたい。

【本審議】

① 電気の需給

委：各電力会社によって得意とする時期があったり、価格以外のサービスを提案することで契約する会社があったり、事情がそれぞれあり応札業者が多くないということか。入札案内の対象を増やして応札業者を増やす努力していくしかないということか。

防：そのとおりである。

委：契約相手方から電力供給が受けられなくなった場合、即座に東京電力から供給を受けられるのか。

防：そのとおりである。契約相手方と東京電力が契約を結んでおり、契約相手方が電力を供給できなくなった場合に速やかに東京電力に切り替わることで対応している。

委：複数年契約の方が安くなるのではないか。

防：現在は単年度予算により契約しているが、今後、検討する可能性はある。

② 補本等における情報処理業務の委託

委：担当する作業員に関するセキュリティはどのような状態になっているのか。

防：契約相手方に教育を実施させ、セキュリティの確保に努めている。

委：計算の透明性が求められるので注意してほしい。

委：本件は、運用マネジメントを含めて業者に丸投げしているように見える。技術革新とともに専門性が業者側に帰属し、顧客との知識のギャップが広がっていく分野なので、業者の言いなりにならないように職員が専門性を高めることが

重要である。

③ ④ 水中スクーター，外洋

委：応札業者が輸入代理店から見積を得られなかった理由を教えてください。「得られなかった」では答えになっていないので、想像するとか仮設を立てるとかすることにより、競争性を高めるための発想につなげてほしい。

委：初回契約時にのみ取扱説明書を納入させることで、競争を阻害しているのではないか。見直しをしてほしい。

防：承知した。

委：価格変更があっても取扱説明書は同じでよいのか。

防：操作方法が同じなら不要である。

⑤ LM2500型ガスタービン(ガスタービンアッセンブリ)機関部品外RING, LOCKING, COMPRESSOR外

委：価格の増減はあるのか。

防：材料費の移動平均、経費率変動の影響は受けるが、毎回購入するものが違うので、個別のアイテムについては検証していない。

⑥ イージス武器システム国内技術支援

委：本件及び過年度契約での、契約金額の内訳及び内訳費目の変動理由、本件と内容が類似すると例示した契約の違いについてフォローアップにおいて説明されたい。また、資本関係及び外注率が分かる資料についてもフォローアップにて提出されたい。

⑦ IFFプラットフォーム認証に関する国内技術支援（「はるさめ」ほか）

委：前例が1者応募であったのに複数者が応募してきた案件については、どうするのか。

防：競争入札を行うこととなる。今後も適正な契約をしていきたい。

⑧ IP電話機，4型

委：製造メーカーが契約相手方に独占販売を認めているのに、別の応札業者が入札しているのはなぜか。応札業者はどのような提案をしてきたのか。

防：一般競争入札なので応札業者をしばらない。落札したら指定の型を納入してもらう。

委：今回は専用品とのこと、一般競争入札に適したものではなかったのではな

いか。

(3) 次回の日程等

次回は11月18日(水)の開催の予定。詳細については、事務局から後日連絡。